

Mimaki



RasterLink Pro II

## ラスターリンクプロII

### GP-604D/GP-1810D 抜染用リファレンスガイド

Raster Link Pro II を使用して GP-604D、GP-1810D で抜染プリントを行うための設定を説明します。

---

---

# この取扱説明書について

本説明書は、GP-604D、GP-1810D で染付済みの T シャツから色を抜く（抜染）を行うための、画像の加工方法および Raster Link Pro II の設定方法を説明します。

Raster Link Pro II の基本的な操作方法についてはリファレンスガイドをご覧ください。

## 本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“抜染合成”のように“”で囲っています。

ダイアログに表示されているボタンは、**設定終了**のように□で囲っています。

## マークについて

**重要!** 操作を行う上で、注意する点を説明しています。

## ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります、ご了承ください。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとする。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とする。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとする。

Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。  
その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

---

---

# 目次

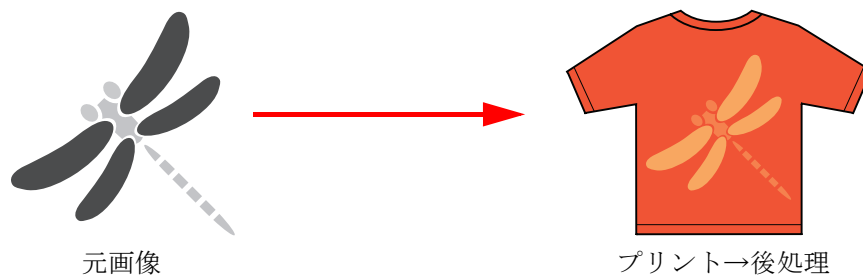
この取扱説明書について.....	2
ご注意.....	2
抜染方法.....	4
抜染液のみでプリント.....	4
カラー画像と同時に出力.....	4
抜染液のみでプリント.....	5
抜染用出力画像の色変更.....	5
グレースケール画像と仕上がり.....	5
Photoshop での加工方法.....	6
Illustrator での加工方法.....	8
共通操作.....	8
A. ベクタオブジェクトのままグレースケール画像へ変換.....	9
B. ラスタライズしてグレースケール画像へ加工する.....	10
Raster Link Pro II の設定.....	12
印刷条件の変更.....	12
カラー画像と同時に出力する.....	13
Raster Link Pro II の設定.....	13
ジョブ設定.....	13

# 抜染方法

抜染方法は次の方法があります。

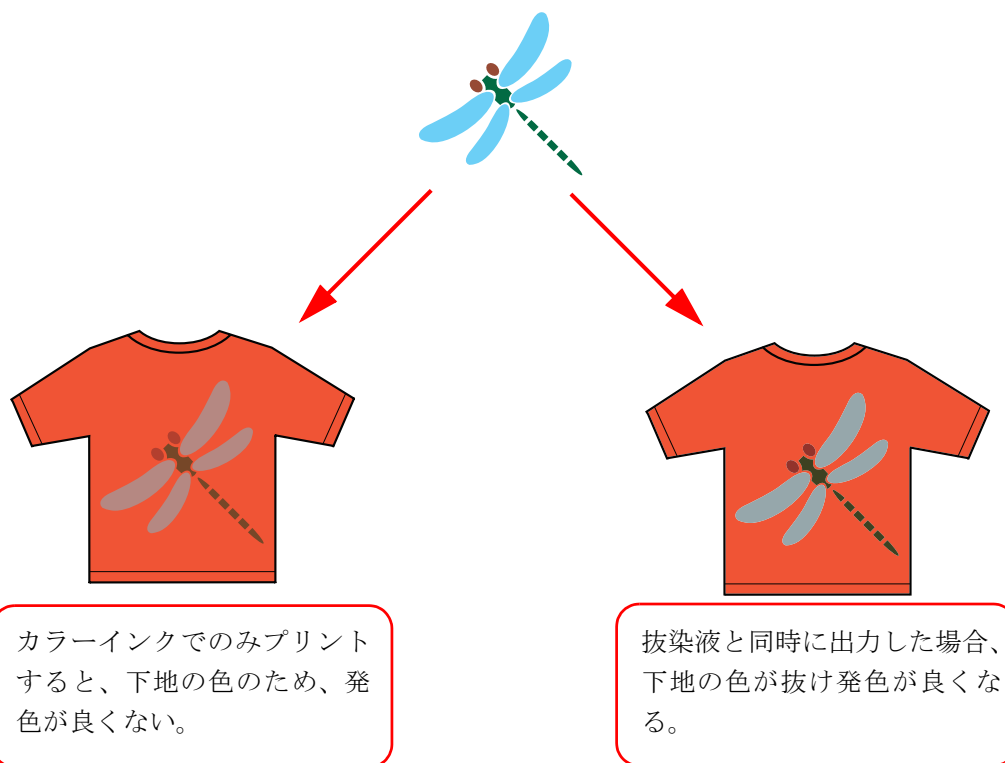
## 抜染液のみでプリント

抜染液のみで画像をプリントします。  
元となる画像はモノクロで作成します。



## カラー画像と同時に出力

カラーインクと抜染液を同時に出力します。  
カラーTシャツにカラーインクのみでプリントすると、画像が目立ちません。抜染液を同時に出力することでカラーTシャツの色が抜け、カラーインクの発色が良くなります。



# 抜染液のみでプリント

## 抜染用出力画像の色変更

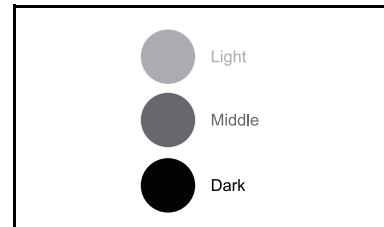
出力したい画像がカラーデータの場合、画像データの色を **グレースケール（Black のみで画像を表現する）** にします。

### グレースケール画像と仕上がり

出力するグレースケール画像中の一番黒い部分に、一番多く抜染液が塗布されます。つまり、仕上がり時には元のグレースケール画像で一番黒い部分が、一番色が抜けて薄くなります。

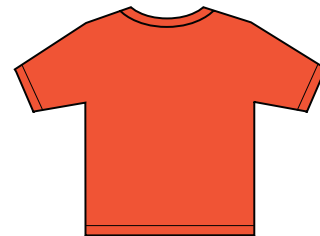
例)

右の画像を



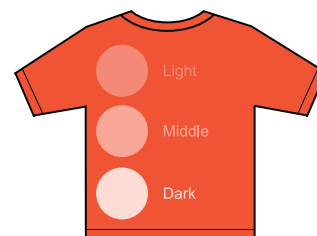
↓ プリント

色付きのTシャツに抜染剤を使ってプリントし、後処理します。



↓ プリント後、後処理する

右のように、元の画像の色が濃いところが一番色が抜けます。

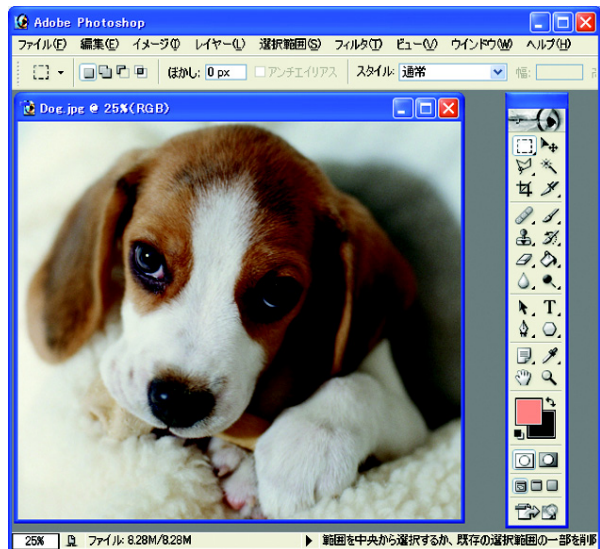


通常のプリンタでは、画像の暗い部分は濃くプリントされます。しかし、抜染液でプリント、後処理すると上記のように、元の画像の色が濃い部分が薄く、色が薄い部分が濃くなり、元の画像と逆になります。このため、プリントする画像は白 / 黒を反転させる必要があります。

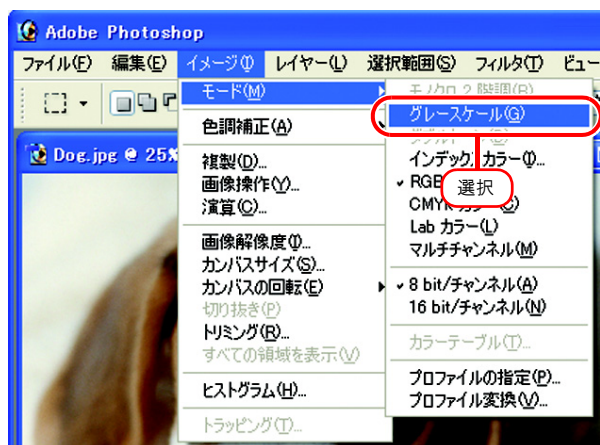
# Photoshopでの加工方法

Photoshop7でグレースケール画像に加工する方法を説明します。

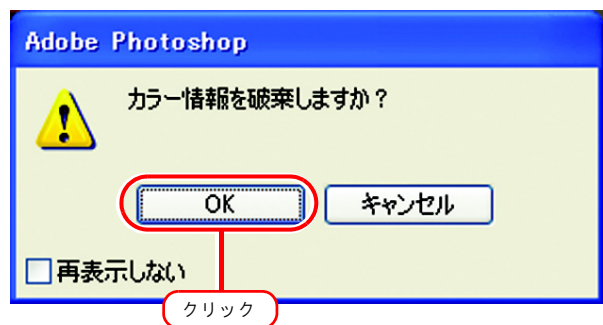
- 1 編集する画像を、Photoshopで開きます。



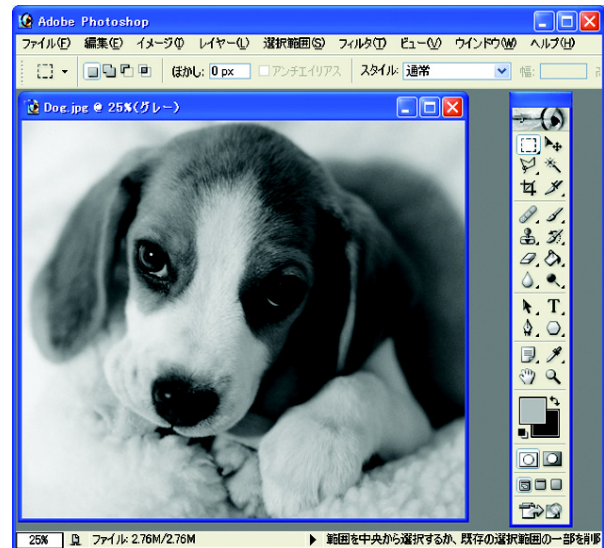
- 2 メニューから[イメージ]-[モード]-[グレースケール]を選択します。



- 3 「カラー情報を破棄しますか？」メッセージボックスを表示します。  
 をクリックします。

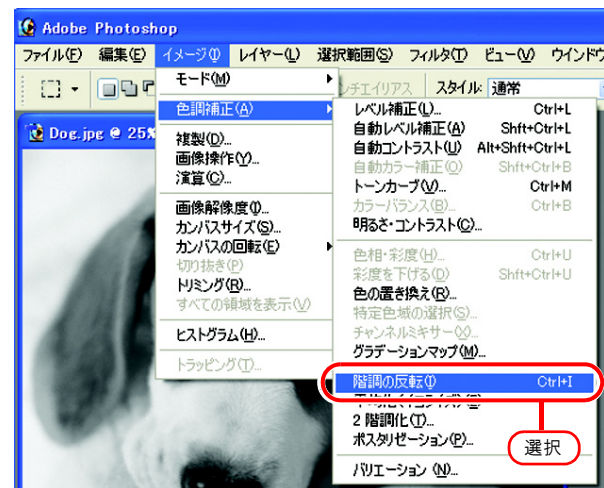


4 グレースケール画像に変換されます。



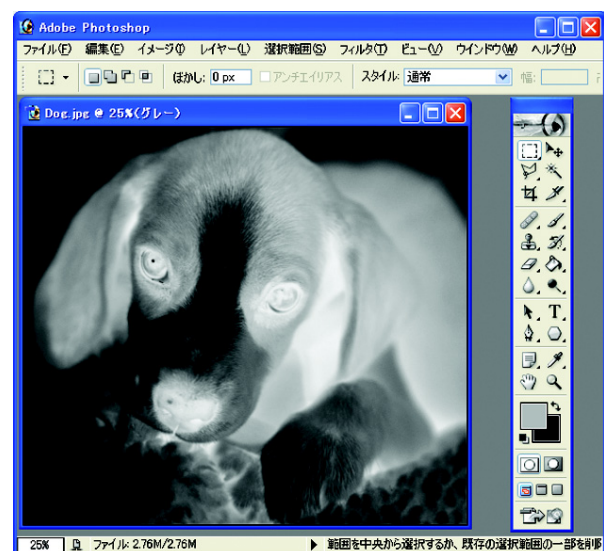
5 画像色を反転させます。

メニューから [イメージ]-[色調補正]  
-[階調の反転] を選択します。



6 色が反転します。

画像を保存します。



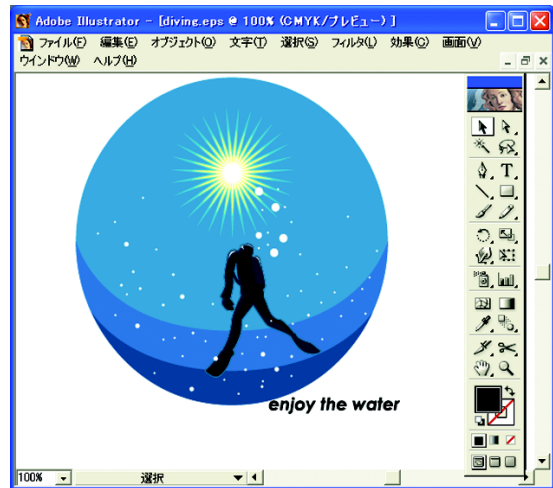
# Illustrator での加工方法

Illustrator10 でグレースケール画像に加工する方法を説明します。

Illustrator でグレースケール画像へ加工する方法は2種類あります。

## 共通操作

- 1 編集する画像を、Illustrator で開きます。

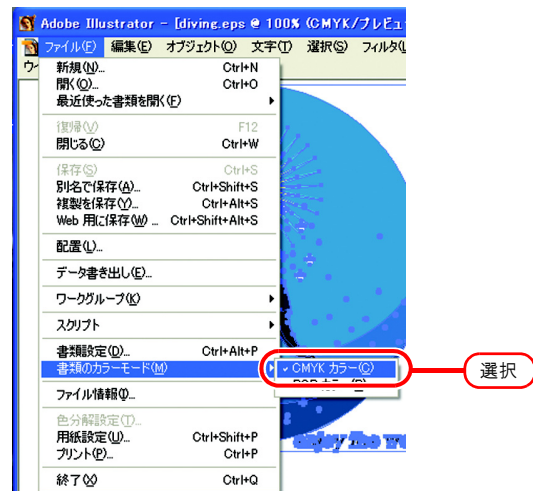


- 2 画像のカラーモードが“RGB”の場合、“CMYK”へ変換します。

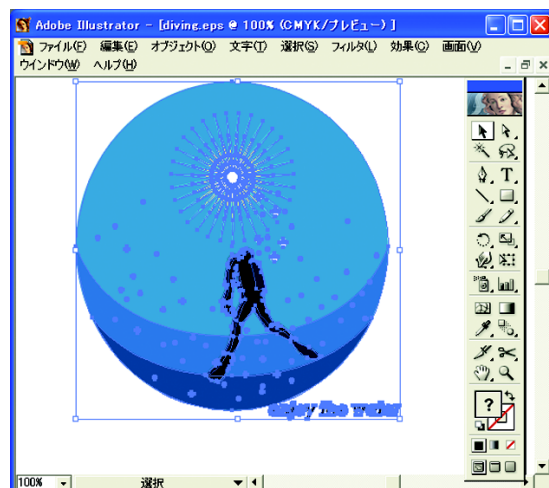
**重要!**

画像のカラーモードは、タイトルバーに(RGB)または(CMYK)と表示しています。

メニューから[ファイル]-[書類のカラーモード]-[CMYK カラー]を選択します。



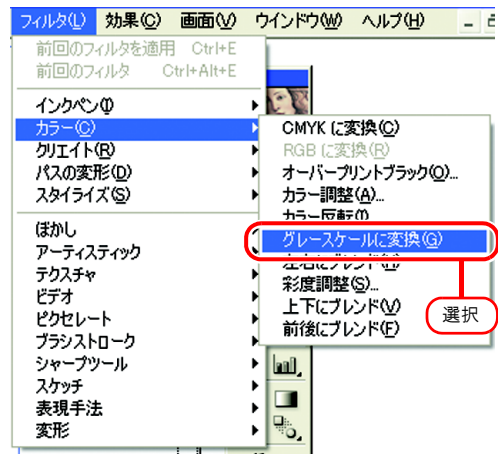
- 3 すべてのオブジェクトを選択します。



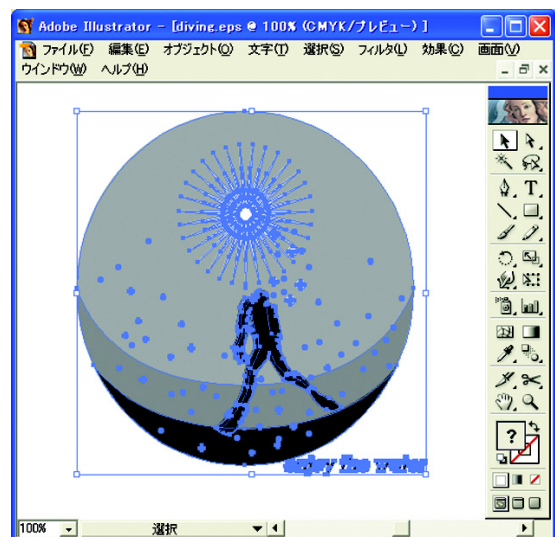


## A. ベクタオブジェクトのままグレースケール画像へ変換

- 1 メニューより [フィルタ]-[カラー]-  
[グレースケールに変換] を選択します。

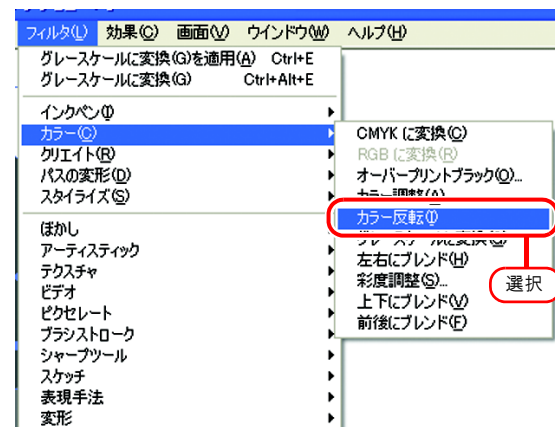


- 2 グレースケール画像に変換されます。



- 3 画像色を反転させます。

メニューから [フィルタ]-[カラー]-  
[カラー反転] を選択します。

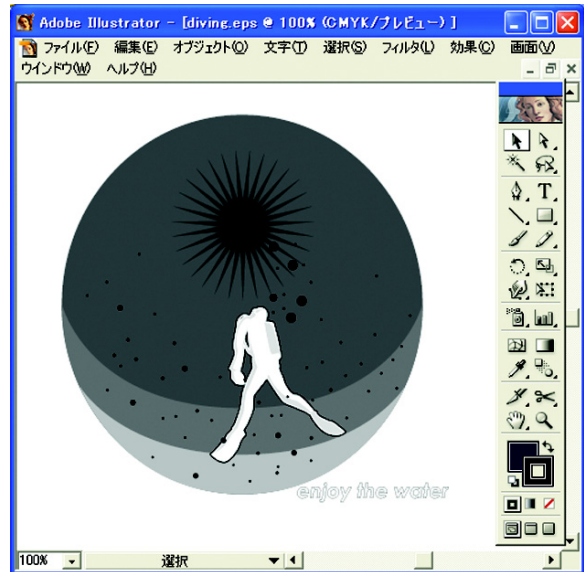


## 4 色が反転します。

### 重要!

オブジェクトが複雑な場合、一部の色がグレー以外の色に変換されることがあります。この場合ラスターライズしてグレースケールへ加工する（次章で説明）か、そのオブジェクトのみ選択し、再度[グレースケールに変換]を実行してください。

画像を保存します。



## B. ラスタライズしてグレースケール画像へ加工する

- 1 メニューから[オブジェクト]-[ラスターライズ]を選択します。

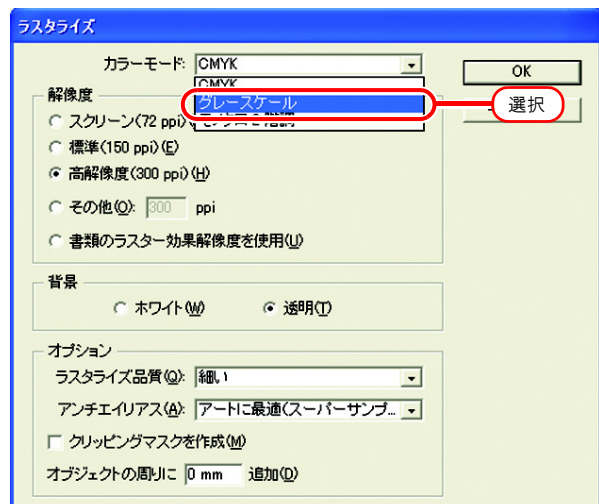


- 2 “ラスターライズ” ダイアログを表示します。

“カラーモード” から “グレースケール” を選択します。

### 重要!

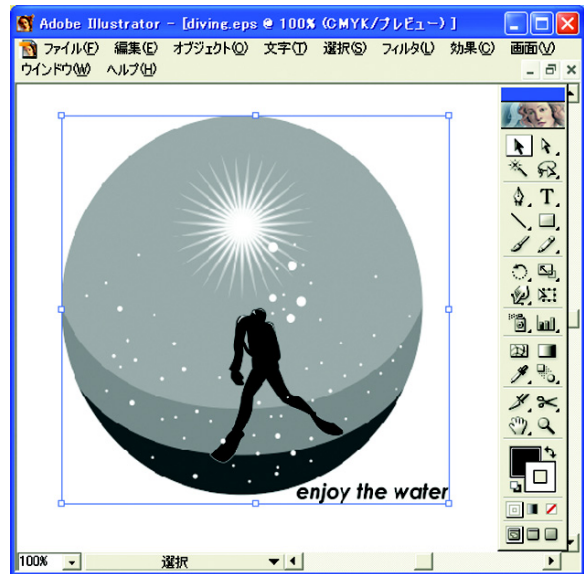
“背景” を “ホワイト” にすると色が反転した場合、背景色は黒に、“透明” にした場合そのまま白になります。



### 3 グレースケール画像に変換されます。

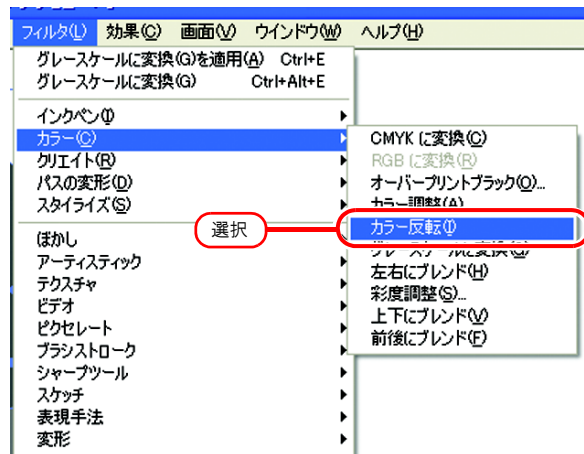
**重要!**

この時点で全てのオブジェクトは1つのラスターオブジェクトにまとめられます。



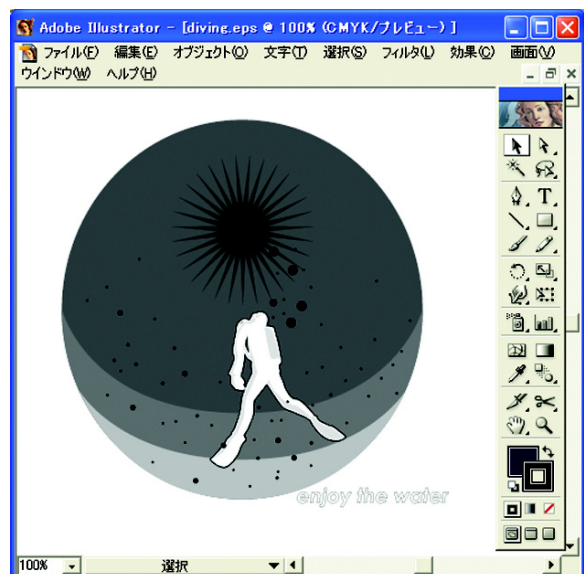
### 4 画像色を反転させます。

メニューから [フィルタ]-[カラー]-[カラー反転] を選択します。



### 5 色が反転します。

画像を保存します。



# Raster Link Pro II の設定

Raster Link Pro II の設定について説明します。

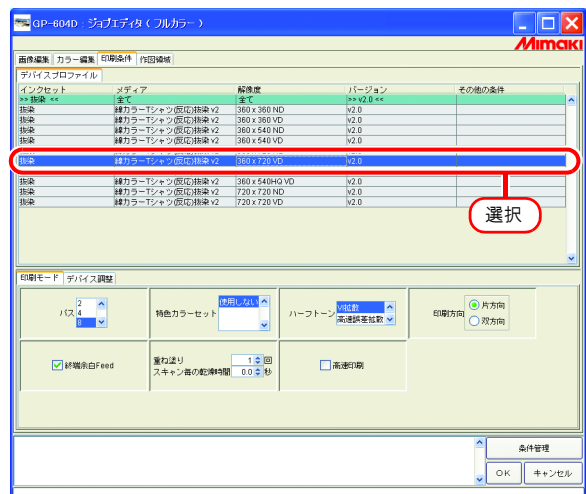
## 印刷条件の変更

抜染液のみを使用する場合、印刷条件で以下のように設定します。印刷条件の設定についての詳細はリファレンスガイドをご覧ください。

**1** 抜染を行うジョブを選択しジョブエディタを開きます。

**2** ジョブエディタの [印刷条件] を開きます。

“抜染” のプロファイルを選択します。



# カラー画像と同時に出力する

## Raster Link Pro IIの設定

Raster Link Pro II の設定について説明します。

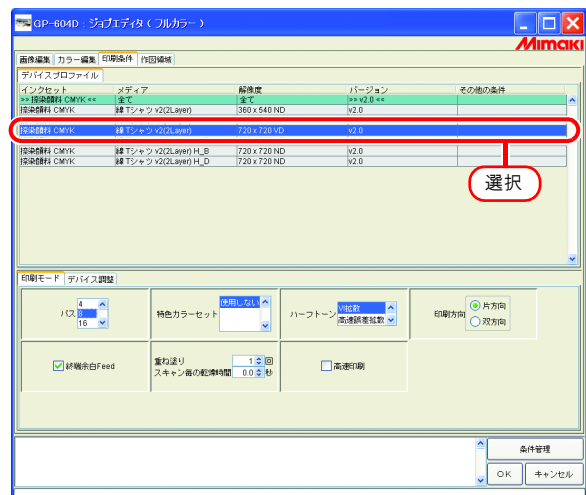
### ジョブ設定

カラー画像と同時に抜染液を出力する設定は次のように行います。

1 抜染を行うジョブを選択しジョブエディタを開きます。

2 ジョブエディタの[印刷条件]メニューを開きます。

“捺染顔料 CMYK” のプロファイルを選択します。

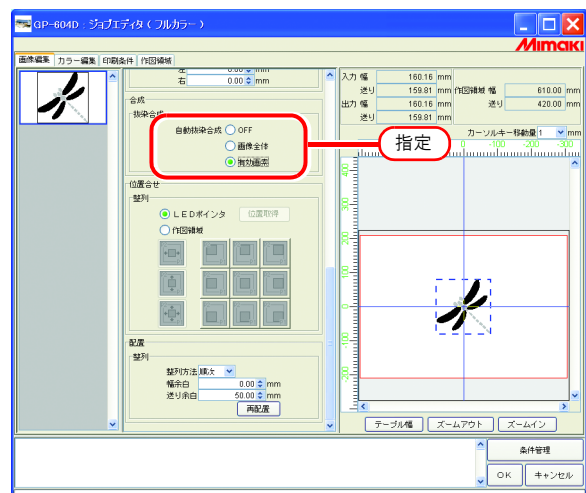


3 [画像編集] メニューを開きます。

“抜染合成” で抜染液の出力方法を指定します。

**重要!**

“抜染合成” が選択できない場合、[印刷条件]でインクセット名が“抜染”のプロファイルが選択されています。“捺染顔料 CMYK”のプロファイルを選択してください。



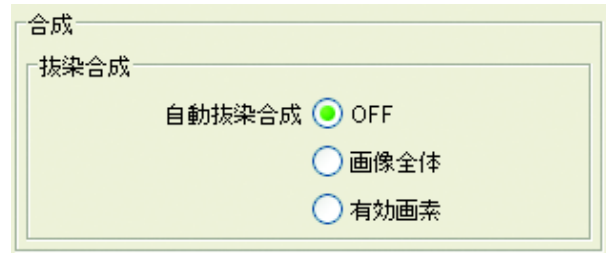
---

## 自動抜染合成

OFF : 抜染液を出力しません。

画像全体 : 画像全体(プレビューで点線の四角形で囲まれた部分)すべてに抜染液を出します。

有効画素 : 画像内の色がある部分のみ抜染液を出力します。







D201553-1.00-16062006

Printed in Japan

© 2006 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. Allright reserved.

EA

IT